

使用した辞書類:電子辞書CASIO, jisho.org(日本語・英語), PONS(オンライン多言語辞書のうち、スロベニア語・英語・フランス語)

行番号	読む素材		協力者の発言内容		データ収集者の発言内容	備考
	ページ	文章	発言	日本語訳		
1			Danes bomo braši članek na Wikipediji o Napoleonu.	今日は、ナポレオンについてのWikipediaの記事を読みます。		
2					うん。	
3			In se bom.	そして、		
4					短めましょうか。	
5			Oo, tukaj je njegov življenjski opis.	んん、ここが彼の生涯[について書かれている箇所]です。		
6					うん。	
7		生涯	In tule bom preveril to besedo[生涯].	そして、ここでこの言葉[生涯]を確認します。		
8					うん。	
9			Bom kopiral in vstavim v ta jisho.org[生涯]をjisho.org入力して検索する。]	コピーして、このjisho.orgに入力します[生涯]をjisho.orgに入力して検索する。]		
10					この言葉は分かりませんね。	
11			Ja, samo, da preverim.	はい、少し確認します。		
12					はい。	
13			Oo, se pravi, je življenje[日本語で発言する] in.	うん、つまり、これは「生涯」で、		
14					jisho.org. うん。	
15			In se pravi, da je[生涯]の部分は njegova kariera oziroma pač življenjski neke vrste.	そして、つまり[生涯]の部分は[ナポレオンのこと]。彼の経歴、伝記みたいなものです。		
16					うん。	
17		生い立ち	To je to. In potem imamo ikeri[生い立ち]の読み間違え[日本語で発言する]。to bom tudi preveril.	ごういことです。そして、あとはいきたち[生い立ち]の読み間違え。これも確認します。		
18					うん。	
19			Sicer pač znam prebrati, ampak bi raje preveril zaradi pomena[生い立ち]をjisho.org入力して検索する。]	まあ、読めますが、意味を確認したいです[生い立ち]をjisho.orgに入力して検索する。]		
20					うん。	
21			Oo, se pravi, aha, se pravi tudi pač oiki, ikeri[生い立ち]日本語で発言する。]	んん、つまり、ああ、つまり、「おい、生い立ち」は		
22					うん。	
23			Se pravi, je njegova osebna zgodovina oziroma pač zgodnja, zgodnje življenjsko obdobje.	つまり、彼の履歴が幼少、または幼少期[のこと]です。		
24					うん。	
25			Se pravi od otroštva in mladosti in tako naprej.	つまり、幼少期や青春期など[のこと]です。		
26					はい。	
27		1769年、コルシカ島のアジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・フオナバルドと母マリア・レティツィア・ラモリーノの間に、12人の子供(4人は夭折)のうち4番目として生まれた。	Umm, se pravi, potem, 1769[7を3と間違えて、せんさんびやくくじゅうさうねんと日本語で発言する]。]	うん、つまり、そして、「1769年」[7を3と間違えて、せんさんびやくくじゅうさうねんと日本語で発言する]。]		
28					うん。	
29			コロシ, コルシカ島[コルシカ島]のこと]のアジャ, アジャクシオ[綴りながら笑う]。]	コロシ, コルシカ島[コルシカ島]のこと]のアジャ, アジャクシオ[綴りながら笑う]。]		
30					[笑う。]	
31			少し難しい。	少し難しい。		
32					カタカナ。	
33			アジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・フオナバルドと母マリア・レティツィア・ラモリーノの間に12人の子供、4人は、あ、これ[夭折]は。	アジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・フオナバルドと母マリア・レティツィア・ラモリーノの間に12人の子供、4人は、あ、これ[夭折]は。		
34					漢字、漢字。	
35			Umm, kanji, umm, to[夭折] bom preveril.	うん、漢字、うん、これ[夭折]を確認します。		
36					うん。	
37			Spet[確認します] v jisho[オンライン辞書のjisho.orgのこと]。[[夭折]をjisho.orgに入力して検索する。] Nin, 夭折[日本語で発言する]。se pravi da so umrli, pač da so umrli v otroštvu ali da so prezgodaj umrli.	またjisho[オンライン辞書のjisho.orgのこと]で[確認します]。[[夭折]をjisho.orgに入力して検索する。]んん、「夭折」、つまり死んだ。まあ、幼少期に死んだか若死にしたのです。		
38					うん。	
39			Oo, se pravi, da leta 1769 na otoku Korzka, aho, アジャクシオ[日本語で発言する]。a, to bom pa preveril, ko smo ravno že tukaj, pač, a, アジャクシオ[日本語で発言する] [[記事中にある「アジャクシオ」のリンクをクリックする]。]	んん、つまり、1769年にコルシカ島で、「あ、アジャクシオ」。あ、せっかくなので、これも確認します。この、あ、「アジャクシオ」[記事中にある「アジャクシオ」のリンクをクリックする]。]		
40					うん、今朝をしたんですか。	
41			Umm, preveril sem še tukaj en, pač, to ime kraja.	うん、ここで1つ、まあ、この場所の名前を確認したのです。		
42					うん。	
43			Ker je v katakani, zato da pač preverim.	カタカナなので、まあ、確認するために。		
44					つまり、ただ[その言葉を]クリックしたんですね。	
45			Kikol, ja.	クリックしました。はい。		

135		Oo, イタリアからフランス風のナポレオン・ボナパルトへ改名【日本語で発話する】。mm, bom samo preveril se, ali je to pravi【改名】をjisho.orgに入して検索する】。Sicer,	んん、「イタリアからフランス風のナポレオン・ボナパルトへ改名」んん、これ【改名】も正しいか確認します【改名】をjisho.orgに入して検索する】。まあ、		
136				うん。	
137		Pač vem, kaj pomeni, pač da je spremenil ime, ne Ampak.	まあ、意味は分かります。名前を変えた、ということですね。ですが、		
138				うん。	
139		Pač samo zanima me, ja, 改名【日本語で発話する。】。	まあ、ただ【正確な意味が知りたいという】興味があります。はい、「改名」。		
140				改名、うん。	
141		Ok, se pravi, je spremenil ime.	はい、つまり、改名しました。		
142				どうして意味が分りましたか。	
143		Oo, ker kái【改のこと】【日本語で発話する】 je ponavadi, pač, 改【日本語で発話する】 z enim .	んん、「かい【改のこと】は普通、まあ、「改」と一緒に【おそろく「改」と一緒に単語になる漢字を思い出そうとしている】。		
144				はい。	
145		In tako naprej.	こんな感じです。		
146				うん。	
147		Pač, ponavadi, pač, v bistvu, ker je 改めて【日本語で発話する】。	まあ、普通は、まあ、つまり、「改めて」ですから、		
148				うん。	
149		Oziroma, pač, ima ta pomen, da nekaj spremeniš.	あるいは、まあ、この何かを変えるという意味を持っていますから。		
150				はい。	
151		Ponavadi pač na bolje, no, ali kakorkoli.	普通は、「改の意味は」良くするとかです。		
152				うん。	
153		Pač, in かい【名のこと】【日本語で発話する。】。	そして、まあ、「かい【名のこと】。		
154				そして名。	
155		In 名【日本語で発話する】. seveda.	そして「名」、もちろんです。		
156				うん。	
157		Pač, spremeniti ime.	まあ、改名するということです。		
158				うん。	
159		Pač, se pravi nekako logično. Oo, se tukaj vidim【「署名」をjisho.orgに入して検索する】。o, o, o, 署名【日本語で発話する】。aha, se pravi, tukaj je podpis.	まあ、つまり、当たり前と言いますか、んん、これも何か【「署名」をjisho.orgに入して検索する】。んん、んん、【署名】。ああ、つまり、これは署名【という意味】です。		
160				うん。	
161		【改める】か【改めた】をjisho.orgに入して検索する。】 Tudi tu sem preveril se, 改めて【日本語で発話する】。A, se pravi, no, umm, potem, se pravi, potem ko je bil pregan z otoka in se je pač odločil, da bo celo življenje preživel v Franciji.	【改める】か【改めた】をjisho.orgに入して検索する。】これも確認しました。「を改めて」。ああ、つまり、んん、うん、あと、つまり、島から追われて一生フランスで暮らすことに決めた後。		
162				うん。	
163		Se pravi, aha, se pravi, ne, se pravi, da po tem, ko je odšel z otoka, se je odločil pač, da bo celo življenje preživel v Franciji in ko je potem približno leta 1794 postal uspešen, odkar je, pač, po letu, ko je postal, potem, nekako od leta naprej, ko je postal uspešen, 1794.	つまり、ああ、つまり、いいえ、つまり島を出てからフランスで一生暮らすことに決めて1794年頃に出世した後、あれから、まあ、そなたから、その後、何か、出世した1794年以来、		
164				うん。	
165		Se je potem odločil, da se je preimenoval pač iz svojega italijanskega, pač italijanskega imena, ki je bilo pač ta Napo, Napoleone di Buonaparte.	その後は、自分のイタリア語の、まあ、このナポレオン・デ・ブナパルテというイタリア名を改名すると決めました。		
166				うん。	
167		Pač iz tega italijanskega imena.	そのイタリア名から、		
168				うん。	
169		Umm, oziroma iz tega italijanskega načina tega pisanja njegovega imena.	うん、あるいは自分のイタリア風の名前の書き方から、		
170				うん。	
171		Je spremenil na ta boj, da zveni bolj francosko, pač ta フランス風【日本語で発話する】。	このもつと、よりフランス風に聞こえるように改名しました。この「フランス風」に。		
172				うん。	
173		In pač je spremenil ime na Napoleon Bonapart, pač ナポレオン・ボナパルト【日本語で発話する】。	そして、まあ、名前はナポレオン・ボナパルト、つまり「ナポレオン・ボナパルト」に改名しました。		
174				うん。	
175		In pač spremenil je pač tudi, pač tudi svoj podpis, pač kako se je podpisal.	そして、まあ、自分の署名も、まあ、署名の書き方も変えました。		
176				うん。	
177		Tako da to je več al manj to.	大体こういう感じです。		
178				そうです。	
179		ブナパルテ家の祖先は中部イタリアのトスカーナ州に起源を持つ古い血統貴族であった。	はい、うん、この後は「ブナパルテ家の祖先は【日本語で発話する】。to se preverim【「祖先」をjisho.orgに入して検索する】。		
180				うん。	
181		Oo, se pravi, a, se pravi prednik, ne, neke vrste prednik. Se pravi, ta ナポレオン家【日本語で発話する】。pač zato ker je ja【家のこと】【日本語で発話する】。je pač ta, bom rekel družina ali pač.	んん、つまり、ああ、つまり祖先ですね、何らかの祖先です。つまりこの「ナポレオン家」ブナパルテ家のこと。「【家のこと】」ですから、まあ、この、一族というか、		
182				うん。	

183		Bom rekai ta družina Napo. a družina. ta. Buonaparte.	ナポレオン家[ブオナルデ家のこと]。あ、一族、この、ブオナルデ[です]。		
184				うん。	
185		In očitno neke vrste prednik je中部イタリア[日本語で発話する]。Aha, se pravi. no, tega ni treba niti gledati. Pač, da je z nekako sredinskega dela Italije.	そして、何らかの祖先は中部イタリア。ああ、つまり、まあ、これは誤りでもいいです。イタリアの中部あたりです。		
186				うん。	
187		Toskana, oo, Toskana, samo to bom preveril. O, o, samo ta košček [「起源」をjisho.orgに入力して検索する]。Toskana.	トスカナ。うん、トスカナ。これ[州]だけ確認します。この部分[州]だけです[「州」をjisho.orgに入力して検索する]。うん、うん、トスカナ。		
188				動詞を消して。	
189		Aha, oo, se praviトスカナ州[日本語で発話する]。	ああ、うん、つまりトスカナ州[です]。		
190				州。	
191		Se pravi pač provinca, država.	つまり、まあ、州、国です。		
192				うん。	
193		No ja, v bistvu verjetno gre prav za, prav za državo. Ker če pomislimo, pač tukaj je treba tudi malo zgodovinsko gledati. Ker v bistvu v tistem obdobju Italija ni bila še združena in so bila ta različna kraljevstva.	ええ、基本的にはおそらく国のことですね。よく考えると、ここは少し歴史的背景も必要です。基本的に、その時代のイタリアはまだ統一しておらず、様々な国があったのです。		
194				うん。	
195		Se pravi, da v bistvu verjetno gre za neke vrste državo, v bistvu, oziroma mestno državo.	つまり、基本的には、たぶん国か都市国家のようなものです。		
196				うん。	
197		Ali nekaj v tem smislu. Se pravi, da je ta prednik bil v srednjem delu Italije. Se pravi v tej, pač, mestni državi ali pač tej državi Toskani.	そういう感じです。つまり、この祖先はイタリアの中部にいました。つまり、この都市国家、あるいは、まあ、このトスカナという国にいました。		
198				うん。	
199		Ali pa regija, no, Oo, 起源を持つ[日本語で発話する]。Se to preverim [「起源」をjisho.orgに入力して検索する]。起源[日本語で発話する]。Izvor a se pravi, da, da, pač da so izvirali, da je očitno ta njegova družina izvirala iz tega, pač, osrednjega dela Italije. Oziroma iz te, pač, države, pač, Toskane.	あるいは州ですね。うん、「起源を持つ」。あと、これ[「起源」をjisho.orgに入力して検索する]。「起源」起源。ああ、つまり、まあ、起源を持って、やはりこの彼[ナポレオン]の一族はこの、まあ、イタリアの中部に起源を持っていたのです。あるいはこの、まあ、国、まあ、トスカナに[「起源」を持っていました]。		
200				うん。	
201		Oziroma regije Toskana.	あるいはトスカナ州に。		
202				うん。	
203		古い[日本語で発話する]。umm, aha, 持つ古い[前後を読み飛ばす][日本語で発話する]。Se to preverim O, o, o.	「古い、うーん、ああ、持つ古い[前後を読み飛ばす]」、これ[血統貴族]も確認します。うん、うん、		
204				この4つの漢字を、	
205		Te štiri kanjije, ja [「血統貴族」をjisho.orgに入力して検索する]。Oo, se pravi, tukaj je 血統[日本語で発話する]。se pravi, to je neke vrste družinsko drevo. In 貴族[日本語で発話する]。se pravi, da so bili v bistvu, pač, to bom samo preveril še v PONS.	この4つの漢字を、はい「血統貴族」をjisho.orgに入力して検索する。うん、うん、つまり、これは「血統」。つまり、これは一種の家系です。そして「貴族」。つまり、彼ら[ブオナルデ家]はつまり、まあ、これ[「血統」]はPONS[オンライン多言語辞書]でも確認します。		
206				うん。	
207		Bi rad samo preveril zaradi slovenščine.	ただ、スロベニア語で調べたいです。		
208				うん。	
209		Da ne bi kaj naraba povedal O, o, o, PONS, 血統[日本語で発話する]。se pravi lineage[血統の英語訳 lineage]をPONSに入力して検索する]。A, se pravi, pač, da je bil iz tega, umm, pač, da tukaj gre pač za plemiška rodbina.	間違えないように、うん、PONS、「血統」。つまり「血統」[血統の英語訳 lineage]を言う。「lineage」をPONSに入力して検索する]。ああ、つまり、まあ、彼ら[ナポレオン]はこの、うーん、まあ、これは血統貴族だということです。		
210				うん。	
211		Se pravi 血統貴族[日本語で発話する]。umm, se pravi, se pravi, to je bila stara plemiška rodbina.	つまり「血統貴族」、うーん、つまり、つまり、これは古い血統貴族で。		
212				うん。	
213		Ki je izvirala, a, stara plemiška rodbina, ki je izvirala iz tega osrednjega dela Italije, oziroma iz te province Toskane.	その起源が、ああ、まあ、このイタリアの中部、このトスカナ州に起源を持つ古い血統貴族です。		
214				うん。	
215		Se pravi, da še damo vse skupaj, da ta družina Napoleon[「ナポレオン家」と言おうとするが間違いに気づく]。a, Buonaparte, družina Buonaparte, oziroma, pač, tej njegovi predniki.	つまり、まとめて言うと、このナポレオン[「ナポレオン家」と言おうとするが間違いに気づく]。あ、ブオナルデ家、ブオナルデ家、あるいは、まあ、この彼[ナポレオン]の祖先は、		
216				うん。	
217		So bili plemiška, stara plemiška rodbina, ki je izvirala iz osrednjega dela Italije, oziroma iz regije Toskane, ki je v osrednjem delu Italije.	イタリアの中部、あるいはイタリアの中部にあるトスカナ州に起源を持つ貴族、古い血統貴族でした。		
218				うん。	
219	それがジェノヴァ共和国の傭兵隊長としてコルシカ島に渡って16世紀頃に土着した。	Ok, se pravi, to je ta stavek Oo, [それがジェノヴァ[日本語で発話する]。se, e, e, tukaj spet neke te ave.	はい、つまりこれはこの文です。うん、[それがジェノヴァ]、えー、え、え、ここでまた問題が起きました。		
220				この漢字[共和国]。	
221		Ta kanji bom preveril, ja. Se pravi, dam v 電子辞書[インターネット上の辞書という意味] [jisho.orgのこと]。共和、共和国[日本語で発話する]。e, se pravi, pač ta 共和国[日本語で発話する]。se pravi republika.	この漢字[共和国]を確認します。はい、つまり「電子辞書」[インターネット上の辞書という意味]でjisho.orgのこと。[「共和国」]をjisho.orgに入力して検索する]。「共和」、「共和国」。あ、つまり、まあ、この「共和国」、つまり共和国は、		
222				うん。	
223		Se pravi tukaj je rep, republika Genova.	つまり、ここはジェノヴァ共、共和国です。		
224				うん。	
225		No, hm, hm, hm, to bom tudi preveril.	で、うーん、うーん、うーん、これ[傭兵隊長]も確認します。		
226				この4つの漢字を、	

227		Te štiri kanjeje, ja.	この4つの漢字を、はい。		
228				jisho.org	
229		Jisho.org, ja. Oo, se pravi. 艦兵 [日本語で発話する]. se pravi plačaneec. 隊長 [日本語で発話する]. se pravi, da je bi komandir, oziroma, pač, poveljni tih plačancev v tej republiki Genovi.	jisho.org, はい, んん, つまり「艦兵」, つまり艦兵「隊長」です。つまり、彼はこのジェノヴァ共和国において、指揮官あるいは艦兵の隊長でした。		
230				うん。	
231		Umm, コルシカシマ [コルシカ島のこと] に渡って, [[16]を読み飛ばす]世紀, a, ee, ち, 16世紀頃に [日本語で発話する].	うーん, コルシカシマ [コルシカ島のこと] に渡って, [[16]を読み飛ばす]世紀, あ, えー, 1ち, 16世紀頃に「」.		
232				うん。	
233		コルシカ [日本語で発話する]. aa, ok, razumem.	「コルシカ」, ああ, はい, 分かりました。		
234				うん。	
235		Samo to še preverim [「土着」をjisho.orgに入力して検索する].	これ [土着] だけ確認します [「土着」をjisho.orgに入力して検索する.].		
236				ああ, この2つの漢字 [土着] ですわ。	
237		O, o, o, 土着 [日本語で発話する]. aa, indigenous [英語訳を発話する]. se pravi, to je 土着した [日本語で発話する]. mmm, 土着 [日本語で発話する] bom samo še preveril še v tem [電子辞書].	ん, ん, ん, 「土着」, ああ, 「indigenous」 [英語訳を発話する]. つまり, これは「土着した」, んんん, ここ [電子辞書] でも「土着」だけを確認します。		
238				電子辞書。	
239		電子辞書 [日本語で発話する]. ja.	「電子辞書」, はい。		
240				うん。	
241		土着 [「土着」を電子辞書に入力して検索する] [日本語で発話する]. Se pravi, no, v bistvu tukaj [「テキストの読んでいる文」] piše, da se, v bistvu, po mnenju, da so se tam naselili.	「土着」 [「土着」を電子辞書に入力して検索する]. つまり, まあ, つまり, ここ [テキストの読んでいる文] は「居住した」と書いてあります。つまり, そこに居住したのだと思います。		
242				うん。	
243		Najbrž, od tam, tam naprej ži, naprej tam živeli. Se pravi, že enkrat moram. 自分がジェノヴァ共和国の [日本語で発話する]. mm [「艦兵隊長」を読み飛ばす] としてコルシカシマ [コルシカ島のこと] に渡って [日本語で発話する]. o, o, o, se pravi, že sin prav razumi, ja, ta njegov prednik potem pravi žno v 16. stoletju kot poveljni, umm, teh plačancev.	たぶん, それから, それから, 住み, それから, そこに住みました。つまり, もう一度 [読み飛ばさなければ] なりません, 「それがジェノヴァ共和国の」, んん [「艦兵隊長」を読み飛ばす]。 [「としてコルシカシマ [コルシカ島のこと] に渡って」, ん, ん, ん, つまり, 私の解釈が合っていれば, この輩 [ナポリの] の祖先は, その, 16世紀頃に, うーん, この艦兵の隊長として,		
244				うん。	
245		Iz republike Genove prišel pač na Korziko.	ジェノヴァ共和国から, まあ, コルシカに来ました。		
246				うん。	
247		In so pač od tam naprej, potem, od takrat naprej so potem pač živei tam, ta rodina, na Korziki. Oo, se pravi.	そして, まあ, それから, それから, まあ, この一族がそこ, コルシカに住んでいました。んん, つまり,		
248				うん。	
249		Naprej je potem.	そして続きは,		
250				続きは,	
251		判事をしていた父カルロは, 1729年に始まったコルシカ独立戦争の指導者バスカル・オリアの前首を務めていたが, ナポリオンが生まれる直前にフランス側に転向し, 戦後に後退りの見返りとしての報酬を受けてフランス貴族と同じ権利を得た。	「はん」 [判のこと], [日本語で発話する]. to še preverim. Mmm, ta karji v jisho.org [「判事」をjisho.orgに入力して検索する].	「はん」 [判のこと], これ [判事のこと] を確認します。うん, この漢字をjisho.orgで [検索します] [「判事」をjisho.orgに入力して検索する].	
252				うん。	
253		Oo, 判事 [日本語で発話する]. je, se pravi, sodnik. 判事をしていた父カルロは [日本語で発話する]. se pravi, da je ta oče bil potem sodnik.	んん, 「判事」は, つまり判事です。「判事をしていた父カルロは」, つまり, この父は判事をしていました。		
254				うん。	
255		せん, 1329年 [1729年を1329年と間違える] に始まったコルシカ [日本語で発話する]. o, o, o, to bom še preveril. A, no, saj lahko malo sklepam. 独立 [日本語で発話する]. se pravi, no, ja, v bistvu gre pač za osvobo, pač odcepljeno ali osvobodilno vojno, samo še preverim pač.	「せん, 1329年 [1729年を1329年と間違える.] に始まったコルシカ」, ん, ん, ん, これ [独立戦争のこと] を確認します。ああ, 推測はできませんが, 「独立」, つまり, まあ, はい, つまり, まあ, 独, まあ, 分離が独立の戦争のことです。ただ, まあ, 確認します。		
256				うん。	
257		Izgovorjavo, Tukaj, densh.org [「独立戦争」をjisho.orgに入力して検索する].	読み方を, ここ, densh.org [で検索します]. [「独立戦争」をjisho.orgに入力して検索する].		
258				うん。	
259		Oo, 独立 [日本語で発話する]. pač to je neodvisnost. 戦争 [日本語で発話する]. je pa pač se pravi, neke vrste, no, ja, pač, že kar vojna za neodvisnost, no, neke vrste pač.	んん, 「独立」, まあ, これは独立です。そして「戦争」は, まあ, つまり, 何らかの, まあ, はい, まあ, 何らかの独立の戦争です。		
260				うん。	
261		Ok, Se pravi, a samo še to vidim. 独立戦争 [日本語で発話する]. ok.	はい, つまり, あ, これだけ見てみます。「独立戦争」, はい。		
262				少し確認してもいいですか。	
263		Ja.	はい。		
264				これ [1729年] の読み方は何ですか, あとこれ [どの言葉] を指しているか不明。	
265		1329 [1729年を1329年と間違える].	「1329」 [1729年を1329年と間違える].		
266				本当ですか [笑う]. 翻訳は正しかったですが, 読み方はどうですか, そしてこの数字の.	
267		Aa, Aa, なな [7のこと], ななひゃく [700のこと] [日本語で発話する]. se opravičujem.	ああ, ああ, 「なな」 [7のこと], 「ななひゃく」 [700のこと], すみませんでした。		
268				聞き取り不能.]	
269		To je.	これは,		
270				いいえ, 全然.	
271		Ne da bi vedel, ampak.	わざとではなくて,		
272				[笑う.] ころ, 無意識にですわ。	

273			Ja, ja, človek kar avtomatsko nekako.	はい、はい、何か無意識に。	
274				はい、はい。	
275			Čeprav, ne, se mi zdi, da sta 3 in 7 včasih rahlo, tako, malo blizu, in potem se zdi, da človek pod.	ただですね、3と7が、たまにこう、少し近くにある気がして、それで無意識に、	
276					[笑う。] 近くにあるとはどういうことですか。
277			Podzavestno.	無意識に「間違えてしまいます」。	
278					[人]に、
279			Ne, v bistvu, pač.	いいえ、つまり、まあ、	
280					人に近いですか。
281			Ne, pač, podzavestno se zmotiš.	いいえ、まあ、無意識に間違えてしまいます。	
282					[笑う。]
283			In potem se ti zdi, samemu sebi se ti zdi, pač, da je pravilno, se pravi, ja.	そして、自分にとって、自分が、まあ、正しく感じて、つまり、	
284					両方いい数字ですからね。
285			1700, 1700 in tako naprej.	1700, 1700などです。	
286					大したことないです。
287			Hvala, ker ste me opozorili, ja.	指摘をしてくださって、ありがとうございます。	
288					[笑う。]
289			Ok, začne [「始めて」のこと] [日本語で発話する], o, to bom se preveril [「指導者」をjisho.orgに <input type="text"/> 入力して検索する]. 指導者 [日本語で発話する], no, v bistvu, pač, tukaj ni ni treba kaj dosti preverjati, pač, ja, 指導者 [日本語で発話する] je, se pravi, da je voditelj pač te osvobodilne vojsne.	はい、「始めて」[「始めて」のこと], んん、これ [「指導者」も確認します [「指導者」をjisho.orgに <input type="text"/> 入力して検索する]. 「指導者」、まあ、つまり、まあ、ここは確認することはありません。まあ、「指導者」は、つまりこの独立戦争の指導者です。	
290					うん。
291			バスカル・バオリ [日本語で発話する].	「バスカル・バオリ」。	
292					うん。
293			Se pravi Pascal Pao, mm, tu bom mogoče samo preveril, kako je original [Wikipediaの「バスカル・バオリ」のページを確認する. おそらく英語版か日本語版だが正確には不明]. Aa, Pascale [イタリア語で発話する], Pascal Paoli [フランス語訳を発話する].	つまり、バスカル・バオリ、んん、ここでは元の言葉を確認します [Wikipediaの「バスカル・バオリ」のページを確認する. おそらく英語版か日本語版だが正確には不明]. ああ、「Pascale」[イタリア語で発話する], 「Pascal Paoli」[フランス語訳を発話する]です。	
294					うん。
295			Mm, to je to, Mm, バスカル・バオリのふ [「副官」を最後まで読まない] [日本語で発話する], a, to bom pa preveril, ja [「副官」をjisho.org入力して検索する]. Mmm, へ、副官 [日本語で発話する], se pravi, da je bil njegov adjutant, oziroma, to bom pa preveril, ker nisem prepričan, kako je v slovensi čini, da ne bom kakšne neumnosti rekel [「副官」の英語訳 [adjutant] をPONSに入力して検索する]. O, o, o, adjutant, no, ja, v bistvu, ja, tudi v slovensčini, pač, ali generalov adjutant.	んん、こういうことです。んん、「バスカル・バオリ」のふ [「副官」を最後まで読まない]、あ、これは確認します [「副官」をjisho.org入力して検索する]。うん、へ、副官、つまり彼の副官でした。あるいは、スロベニア語がよくわかりませんが、これを [スロベニア語で] 確認します。間違いたくないので [「副官」の英語訳 [adjutant] をPONSオンライン多言語辞書に入力して検索する]。んん、んん、副官 [スロベニア語訳を言う]。まあ、はい、つまり、はい、スロベニア語でも、まあ、司令官の副官。	
296					うん。
297			Oziroma, pač, adjutant. Pač je nek vojaški naziv, no.	あるいは、まあ、副官です。まあ、何らかの軍隊の階級ですね。	
298					うん。
299			を調べていたが [日本語で発話する], se pravi, da je ta, pač, oče od Napoleona Bonaparta Karlo, umm, služi kot, umm, adju, a, ne, oziroma, pač, ne, ta njegov oče Karlo, ki je drugače bil pač sodnik.	「を調べていたが」、つまり、この、まあ、ナポレオン・ボナパルトの父カルロが、うん、副官を務めていたが、あ、いいえ、そうではなくて。まあ、いいえ、いいえ、彼 [ナポレオン] の判事をしていた父カルロは、	
300					うん。
301			Je potem služil kot adjutant od Pascala, tega Pascala Paolja.	その後、このバスカラ、バスカル・バオリの副官を務めていました。	
302					うん。
303			Ki je bil vodja pač te korziške, pač vodja te korziške, pač, bitke, korziškega gibanja za neodvisnost.	「バスカル・バオリ」は、このコルシカの、まあ、このコルシカの、まあ、闘争、コルシカの独立戦争の指導者で、	
304					うん。
305			Ki se je pričelo leta 1729.	「コルシカ独立戦争」は 1729年に始まりました。	
306					うん。
307			Ampak.	ですが、	
308					しかし、
309			Potem pač nadaljuje.	続けます。	
310					はい、
311			ナポレオンが生まれる直前 [日本語で発話する], samo to še preverim.	「ナポレオンが生まれる直前」、これ [直前] だけ確認します。	
312					うん、直前。
313			Nisem prav popolnoma, samo preverim še.	完全 [「意味を理解している訳」ではないので、少し確認します]。	
314					意味を。
315			V jisho [jisho.orgのこと] [「直前」をjisho.orgに <input type="text"/> 入力して検索する].	jisho [jisho.orgのこと] [「直前」をjisho.orgに <input type="text"/> 入力して検索する] で。	
316					うん。
317			Ja, ravno prej, ravno malo preden, malo prej, in, フランス側に [日本語で発話する], aha, [聞き取り不能], umm, ナポレオンが生まれる直前にフランス側に [日本語で発話する], mislim, tukaj pa je, 転向 [日本語で発話する], no, saj pač razumem, da je prestop na francosko stran [「転向」をjisho.org入力して検索する].	はい、少し前、その直前、少し前、[「に、フランス側に」], ああ [聞き取り不能], うん、「ナポレオンが生まれる直前にフランス側に転向」、まあ、ここは、「転向」、まあ、フランス側に転向したということでは理解しています [「転向」をjisho.org入力して検索する]。	
318					うん。

319		Oo, ja, pač, conversion, shift [辞書検索で出てきた英語の類義語] [英語で発音する], ampak, ja, v bistvu, v tem primeru je pač prestopil.	んん、はい、まあ、「conversion, shift」[辞書検索で出てきた英語の類義語] [英語で発音する]、ですが、はい、要するに、この場合は、まあ、転向したという意味です。		
320				うん。	
321		O, o, o, se pravi, da je potem, malo preden se je Napoleon rodil, je pač potem njegov oče občino prestopil na francosko stran.	ん、ん、ん、つまりその後、ナポレオンが生まれた直前、まあ、そのあと彼の父がフランス側に転向したようです。		
322				うん。	
323		戦後に[日本語で発音する], umm, bom to še preveril, ta knjiga, to besedo, no, v jisho.org [「見返り」をjisho.orgに入力して検索する]。	「戦後に」、うーん、これ[見返り]も、この漢字を、まあ、この言葉をjisho.orgで確認します[「見返り」をjisho.orgに入力して検索する]。		
324				うん。	
325		A, se pravi, no, pač, izdaja [笑う]。	あ、つまり、まあ、裏切りです[笑う]。		
326				[笑う。]	
327		[笑う。] Logično pač, ker je prestopil, ne.	[笑う。]まあ、当たり前です、転向したのですからね。		
328				うん。	
329		Umm, 見返りへの見返り[日本語で発音する], oh, samo to da vidim še, kaj je ta 見返り[「見返」をjisho.orgに入力して検索する]。見返し[日本語で発音する]。	うーん、「見返りへの見返り」、あ、これ[見返り]だけ、この「見返り」を確認します[「見返」をjisho.orgに入力して検索する]。「見返し」。		
330				うん、Jisho.orgに入力したのは2つの漢字だけですか。	
331		Ja, sem dal.	はい、入力したのは、		
332				で、出てきたのは「見返し」。	
333		見返り。	「見返り」です。		
334				「見返り」、「見返す」。	
335		Aa, ok, se pravi nagrada, kompenzacija, Oo, se pravi, da je občino bil pač [笑う] po vojni nagrajen za to svoje izdajo, ne.	ああ、はい、つまり報酬、補償です。うん、つまり[笑う]。戦後にこの自分の裏切りに対して、まあ、報酬をもらったみたいですね。		
336				はい[笑う]。	
337		Umm, in tukaj bom preveril še to besedo v jisho.org [「報酬」をjisho.orgに入力して検索する]。	うーん、そして、これも、この言葉[報酬]もjisho.orgで確認します[「報酬」をjisho.orgに入力して検索する]。		
338				はい。	
339		Oo, 報酬 [日本語で発音する], ja, pač da je dobil neko, predvidevam, pač denarno nagrado ali kompenzacija.	うん、「報酬」、はい、まあ、おそらく賞金か報酬をもらったのだと思います。		
340				うん。	
341		報酬を受けて、フランス[日本語で発音する], o, o, o, se to preverim, フランス [日本語で発音する], ho kakšen 貴族 [日本語で発音する] ali kaj takega [「貴族」をjisho.orgに入力して検索する]。Ja, pač, フランス貴族 [日本語で発音する]。	「報酬を受けて、フランス」、ん、ん、ん、これ[貴族]を確認します。「フランス」、「貴族」(か何かでしよう) [「貴族」をjisho.orgに入力して検索する]。はい、まあ、「フランス貴族」です。		
342				うん。	
343		同じ権利を得た[日本語で発音する], Mislim, da je tukaj 権利 [日本語で発音する], če se ne motim, se to preverim [「権利」をjisho.orgに入力して検索する]。O, o, o, se pravi ja, se pravi, da je dobil za to izdajo potem.	「同じ権利を得た」、私が間違っていないければ、これは「権利」とも思います、これも確認します[「権利」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、つまり、はい、つまり、後でその裏切りに対して「報酬」をもらいました。		
344				うん。	
345		Denarno nagrado in da je tudi dobil pač enakam da je imel privilegije, pridobil je enake privilegije, kot jih ima pač, kot jih je imelo francosko plemstvo.	賞金を[もらい]、そして同じ「権利」も得ました。まあ、権利を得た、フランス貴族が持つ、まあ、持っていたのと同じ権利を得ました。		
346				うん。	
347		Oo, se pravi, potem nadašuje.	んん、つまり、続けます。		
348				うん。	
349		旧ジェノヴァ共和国領であるコルシカ島には貴族制度がなかったが、新貴族としての身分を確立して認められたことで特権を得て、フランス本土への足がかりを得た父カローは、コルシカ総督とも懇意になり、その後援でナポレオンと兄ジュゼッペ(ジョゼフ)に教育を施すためにフランス本土に送った。	「旧ジェノヴァ共和国、領」、あ、これ[領]だけ確認します[「領」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、領域のこととは分かっていますが、		
350				うん。	
351		Samo preverim še enkrat. Umm, 領 [日本語で発音する], ja.	もう一度確認します。うーん、「領」、はい。		
352				領。	
353		Pač, teritorij je.	まあ、領域です。		
354				うん。	
355		Se pravi območje te stare, pač prejšnje, te stare republike Genova.	つまり、この古い、まあ、元の、この旧ジェノヴァ共和国の地域です。		
356				うん。	
357		であるコルシカ島[「コルシカ島のこと」]は[日本語で発音する], se pravi, pač, da te Korzika, pač otok Korzika je bil včasih, pač, del te stare, pač, republike Genova.	「であるコルシカ島[「コルシカ島のこと」]は」、つまり、まあ、このコルシカ、コルシカ島は、まあ、この旧、まあ、ジェノヴァ共和国の一部でした。		
358				うん。	
359		には貴族制度がなかったから[日本語で発音する], se pravi, pač, da niso imeli, umm, ša plemiške oblasti.	「には貴族制度がなかったから」、つまり、まあ、この貴族制度が、うーん、ありませんでした。		
360				うん。	
361		Umm, 新貴族として[日本語で発音する], umm, 身分を [日本語で発音する], se pravi, to samo še malo preverim [「身分」をjisho.orgに入力して検索する]。Mislim, da je 身分 [日本語で発音する] kot pač položaj, družbeni ali nekaj, ja, ja, točno, družbeni položaj.	うーん、「新貴族として」、うーん、「身分を」、つまり、これだけ少し確認します[「身分」をjisho.orgに入力して検索する]。「身分」は立場のことか、と思います。社会的とか、はい、はい、その通り、社会的立場です。		
362				うん。	

363		身分を[日本語で発話する].mmm.se.to.preverim [「晴れて」をjisho.orgに入力して検索する].Oo.se.pravi.pač.javno.	「身分を」。んんん。これ[晴れて]も確認します [「晴れて」をjisho.orgに入力して検索する]。んん。 つまり、まあ、晴れて[という意味]です。		
364				晴れて。	
365		認められたことで。	認められたことで。		
366				うん。	
367		Se pravi, da se, da je bil njegov, da je bil njegov status, družbeni status kot, pač to, umm, novo plemstvo.	つまり、彼の、彼の身分は、社会的身分は、まあ、この、うーん、新貴族として[の身分]が。		
368				うん。	
369		Umm,javno.pač.pač.me.[おそろ(認められた)と日本語で言おうとする].priznan.ne.	うーん、晴れて、まあ、まあ、「み」おそろ(認められた)と日本語で言おうとする、認められたのですね。		
370				うん。	
371		Umm.ここでと(けん[「特権」のこと]を得て[日本語で発話する].	うーん、「ここでと(けん[「特権」のこと]を得て)。		
372				うん。	
373		Se pravi, da je dobil neke posebne pravice. Bom samo še preveril [「特権」をjisho.orgに入力して検索する].	つまり、何らかの特権を得ました。少し確認します [「特権」をjisho.orgに入力して検索する]。		
374				うん。	
375		特権[日本語で発話する].misim.da.je.特権[日本語で発話する].ja.	「特権」。[「特権」だ]と思います。はい。		
376				うん。	
377		Pač imel je ja, pač privilegije. を得て[日本語で発話する]. se pravi, da je pač pridobil pač neke privilegije. フランス[日本語で発話する]. oo.ほん[日本語で発話する]. umm.ほんち[「本土」のこと][日本語で発話する]. pač samo še to preverim malo [「本土」をjisho.orgに入力して検索する]. Pač vem, da pač gre za pač Francijo pač samo po sebi. 本土[日本語で発話する]. se pravi pač to celinsko Francijo. pač pravo Francijo.	まあ、特権を、はい、まあ、持っていました。「を得て」。つまり、まあ、何らかの特権を、まあ、得ました。「フランス」。うん。「ほん」。うーん。「ほんち」。「本土」のこと。まあ、あとこれ[本土を]少し確認します[「本土」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、これは、まあ、フランス自体とは分かってはいますが、「本土」[とは]、つまり、まあ、この大陸[島ではなくて大陸国家という意味]のフランス、まあ、フランスそのものことです。		
378				うん。	
379		本土への足がかりを得た[日本語で発話する]. se pravi. 足[日本語で発話する]. se ta 足がかり[日本語で発話する] preverim [「足がかり」をjisho.orgに入力して検索する]. Pač predvidevam, da si je tem odprl pač, no, pač, ja, seveda, pač je foothold [英語で発話する]. se pravi pač malo v prenosnem pomenu, da si je odprl pot do pač Francije. ne.	「本土への足がかりを得た」。つまり、「足」。この「足がかり」を確認します[「足がかり」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、たぶんこれで[道を]開いて、まあ、はい、もちろん、まあ、「foothold」[英語で発話する]です。つまり、例えで言っているのですが、フランスへの道を開いたのですね。		
380				うん。	
381		Je postal to plemič. 父カルロはコルシカ総[「総督」のこと][日本語で発話する]. a, tukaj še preverim to tukaj, to besedo za Korziko [「総督」をjisho.orgに入力して検索する]. O, o, o, pač prvi del poznam, ker je ta šel [日本語で発話する]. pač, se pravi nekaj [検索が終わって途中で説明をやめる]. aa. 総督[日本語で発話する].	「ナポレオンの父は」貴族になりました。「父カルロはコルシカ総[「総督」のこと]」。あ、ここはこの[「総督」]。こここのコルシカの後ろに来る貴族を確認します[「総督」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、まあ、最初の部分[総]は知っています。この「総」は何らかの[検索が終わって途中で説明をやめる]。ああ、「総督」です。		
382				うん。	
383		Se pravi guverner, oziroma guverner general. とも[日本語で発話する]. o, o, o, tukaj semo še ta kaj [「憲意」をjisho.orgに入力して検索する]. Oo, to je potem 憲意[日本語で発話する].	つまり長官か総督です。「とも」。ん、ん、ん、ここはこの[「憲意」]を確認します[「憲意」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、そしてこれは「憲意」です。		
384				うん。	
385		Aha, ok, se pravi, da, se pravi, da, da je bil pač, umm, ta njegov pač oče Carlo, da je bil tudi, da sta bila prijatelja s tem guvernerjem Korzike.	ああ、はい、つまり、つまり、まあ、うーん、この彼[「ナポレオン」]の、まあ、父カルロはこのコルシカ総督とも友達でした。		
386				うん。	
387		In so [日本語で発話する]. oo, mmm [「後援」をjisho.orgに入力して検索する]. oo, se to preverim, 後援[日本語で発話する]. a, se pravi, pač, podpora.	そして「その」。うん、「後援」をjisho.orgに入力して検索する。んん、あとこれを確認します。「後援」。あ、つまり、まあ、後援ですね。		
388				うん。	
389		その後援でナポレオンと兄ジュ、ジュセッポ、ジュセッペ[日本語で発話する]. se pravi, da s to pač podporo sta Napoleon in njegov pač starši brat Giuseppe, umm. [「教育」を日本語で発話する]. mmm, to preverim na jisho.org [「施す」をjisho.orgに入力して検索する].	「その後援でナポレオンと兄ジュ、ジュセッポ、ジュセッペ」。つまり、この、まあ後援で、ナポレオンと彼の、まあ、兄のジュセッペが、うーん、「[「教育」を]んんん。これ[「施す」をjisho.orgで検索します]。「施す」をjisho.orgに入力して検索する」。		
390				うん。	
391		Oo, 施す[日本語で発話する].	んん、「施す」です。		
392				うん。	
393		Se pravi, da bi pač prejela to [後援] ために, フランス本土に選んだ[日本語で発話する]. se pravi, da zavoljo pač to podpora, se pravi, pač, ker je bi pač njegov oče prijatelj z guvernerjem in tako naprej, ker je bil ta nov plemič, ker je imel plemičke pravice, je potem lahko poslal pač Napoleona in njegovega starejšega brata Giuseppea v Francijo, zato da sta potem tam pridobila izobrazbo.	つまり、この[後援]のために、「ために」、フランス本土に選んだ」。つまり、この、まあ、後援のおかげです。つまり、まあ、彼の父総督と友達で、さらにこの新貴族[になったおかげ]で、貴族の権利がありましたから、まあ、ナポレオンと彼の兄のジュセッペが教育を受けるように、フランスに送ることができました。		
394				そうですね。	
395		Ok.	はい。		
396				うん。	
397	ナポレオンは初め修道院付属学校に短期間だけ入っていたが、すぐに貴族の子弟が学ぶプリンス陸軍幼年学校(6)に1779年に入学し、数学で抜群の成績をおさめたという。	ナポレオン[日本語で発話する]. potom naprej naslednji odstavek.	「ナポレオン」。次の段落です。		
398				うん。	
399		ナポレオンは初め[日本語で発話する]. o, o, o, tukaj bom malo preveril. Pač tukaj je naziv te šole. Loh, 修道院[日本語で発話する]. bom samo malo preveril to na jisho.org [「修道院」をjisho.orgに入力して検索する].	「ナポレオンは初め」。ん、ん、ん、ここは少し確認します。まあ、ここにこの学校の名称があります。「しゅ、修道院」。少しこれ[「修道院」をjisho.orgで確認します]。「修道院」をjisho.orgに入力して検索する」。		
400				では、この3つの漢字を。	
401		Ja, sem te tri kanjije.	はい、この3つの漢字を[検索します]。		

402					検索しました。
403		修道院【日本語で発話する】.aa, se pravi je pa č. v bistvu umm, samostan.	「修道院」。ああ、つまりこれは、まあ、つまり、うん、修道院です。		
404				うん。	
405		Mmm, samostan, bom tukaj še naprej preveril pač drugi del te besede. Pač ker je ista beseda, ampak sem posebej pogledal【付属】か【付属学校】(jisho.org)【日本語で発話する】. O. o. o. 付属学校【日本語で発話する】. se pravi pravzaprav č. ola, ki je, pač, ki ima neke vezi s samostanom.	んんん、修道院、ここもまずこの言葉【付属】か【付属学校】を確認します。同じ言葉ですが、1つずつ確認しました【付属】か【付属学校】(jisho.org)【日本語で発話する】.んんん、ん【付属学校】、つまり、この学校は、まあ、修道院と向らかのつながりがある学校です。		
406				うん。	
407		No, pač, zdaj bi rekli verjetno katoliška šola.	まあ、今でしたら、おそらくカトリック学校というでしょう。		
408				うん。	
409		を短期間だけ入っていたが【日本語で発話する】. se pravi, da je bil pač Napoleon sprva, pač sprva je bil pač v tej samostanski šoli, oziroma v tej šoli, povezani s samostanom samo za krajše obdobje.	「を短期間だけ入っていたが」、つまり、まあ、ナポレオンは最初に、まあ、最初に、まあ、この修道院学校、この修道院付属学校に短期間だけ入っていました。		
410				うん。	
411		すぐに国費で【日本語で発話する】. amm, mislim, da je pač na državne stroške, no, mislim, bom samo še preverim【国費】(jisho.org)【日本語で発話する】. Saj včasih preverim tudi malo brezvezno【笑う】.	「すぐに国費で」、あ、う、これは、まあ、国費だと認めます。jisho.orgで【国費】(jisho.org)【日本語で発話する】。時々、あまり必要なくても確認しますが【笑う】。		
412				うん【笑う】。	
413		国費【日本語で発話する】. no, pač na državne stroške.	「国費」ですね。まあ、国費です。		
414				確かめるためですね。	
415		貴族の、こ【子弟】の【子】の【こと】【日本語で発話する】. mmm, še to preverim, jisho.org【子弟】(jisho.org)【日本語で発話する】. Se pravi, je, ko【子弟】の【子】の【こと】【日本語で発話する】. a, 子弟【日本語で発話する】.	「貴族の、こ【子弟】の【子】の【こと】」、うん、これも確認します。jisho.orgで【子弟】(jisho.org)【日本語で発話する】。つまり、これは、こ【子弟】の【子】の【こと】。あ、「子弟」です。		
416				うん。	
417		Se pravi mlajši pač šudje, oziroma【途中で説明をやめて文を読み続ける】. 子弟が学ぶフリエン、フリエン【日本語で発話する】. a, samo to še preverim, ta naziv tukaj.	つまり若い、まあ、人、または【途中で説明をやめて文を読み続ける】。子弟が学ぶフリエン、フリエン【日本語で発話する】.んんん、ん【付属】。あ、この名称だけ確認します。		
418				うん。	
419		O. o. o.【おそらく】陸軍【日本語で発話する】.	ん、ん、ん【おそらく】陸軍【日本語で発話する】.		
420				【聞き取り不能。】	
421		Se pravi, da očitno ta šola Brienne, v katero so hodili tej misli plemiči.	つまり、やはり、この若い貴族が通っていた【のは】、このブリエンヌという学校です。		
422				うん。	
423		In v katero je šel pač na državne stroške, zdaj bom še to preveril, pač za kaj gre.	そして、【ナポレオンが】国費で通っていた【学校は】、これ【陸軍幼年学校】もどいうことか確認します。		
424				まず、この2つの漢字ですね。	
425		Oziroma, saj v bistvu, ja, 陸軍【日本語で発話する】. oo, se pravi, najboljša, da kar vsa vstavim【おそらく】陸軍幼年学校【日本語で発話する】. a, ne, ne bo šlo, se pravi, da je treba po kosh to preveriti.	あるいは、まあ、要するに、はい、「陸軍」、んんん、つまり、全部入力するのが一番です【おそらく】陸軍幼年学校【日本語で発話する】. あ、はい、駄目です。つまり、1つずつ確認しなければなりません。		
426				うん、3つの漢字【おそらく】陸軍【と】幼年【と】学校【の】3つの言葉【だったら】出てきませんか。	
427		【陸軍】のみをjisho.orgに入力して検索する。】 Se pravi, se pravi, da ta 陸軍【日本語で発話する。】 gre za vojsko.	【陸軍】のみをjisho.orgに入力して検索する。】つまり、つまりこの「陸軍」は陸軍です。		
428				うん。	
429		Potem dam še preostali del【幼年学校】(jisho.org)【日本語で発話する】.	そして、残りの部分も入力します【幼年学校】(jisho.org)【日本語で発話する。】.		
430				うん。	
431		O. o. o. 幼年【日本語で発話する】. o. o. o. 幼年学校【日本語で発話する】.	ん、ん、ん、幼年、ん、ん、ん、幼年学校。		
432				うん。	
433		Oo, bom samo še preveril v 電子辞書【日本語で発話する】.	んん、あと【電子辞書】でも確認します。		
434				うん、どの言葉ですか。	
435		Ta 幼年学校【日本語で発話する】.	この「幼年学校」です。		
436				幼年、うん。「幼年学校」は全部一緒に検索しますか。	
437		Ja.	はい。		
438				うん。	
439		Oe dobim kaj【幼年学校】(電子辞書)【日本語で発話する】. A, se pravi v bistvu to je pač vojaška preparatory school【英語で発話する】. Samo še ta preparatory【英語で発話する】.	【幼年学校】が見つければ【幼年学校】(電子辞書)【日本語で発話する】. あ、つまり、要するに、これは、まあ、陸軍の【preparatory school】【英語で発話する】です。あとはこの【preparatory】【英語で発話する】だけ【確認】します。	英語の【preparatory】だけでは、日本語で【予備】という意味になるため、「幼年」ではなく予備と記載しました。	
440				うん、今はPONS【オンライン多言語辞書】に移りますか。	
441		PONS, ja.	PONS, はい。		
442				【笑う。】びよん、びよん、びよん。	
443		【幼年学校】の【幼年】の英語訳【preparatory】(PONS)【日本語で発話する】. Preparatory【英語で発話する】. a, saj je tudi preparatory school. No, a boljše. Se pravi, pač, o. o. o. v bistvu, no, ja, pač pripravna šola za vojsko.	【幼年学校】の【幼年】の英語訳【preparatory】(PONS)【日本語で発話する】. Preparatory【英語で発話する】. あ、「幼年学校」という見出し語【英語で発話する】はあります。良かったです。つまり、まあ、んんん、要するに、まあ、はい、まあ、この陸軍幼年学校です。		
444				うん。	

445		Ja, pač pripravljala šola za vojsko, se pravi, gremo se enkrat skozi. Oo, potem je pač sprva bil za krajše obdobje v tej pači, samostavni šoli in potem je na državne stroške šel pač v to vojaško pripravila, pripravljalo šolo Brienne, ki je pač namenjena tem mladim plemičem.	はい、まあ、陸軍幼年学校です。つまり、もう一度説明します。んん、それから、まあ、まずは短期間この、まあ、修道院付属学校に在籍し、そして貴族で、まあ、この若い貴族、まあ、のためのプリエンヌ陸軍幼年学校に入学しました。		
446				うん。	
447		In, aja, se pravi, vstopil je pa 1779年【日本語で発話する】. se pravi leta 1779 je pač učenec【日本語で発話する】. se pravi, da je pač vstopil v to šolo.	そして、ああ、つまり、入学したのは「1779年」、つまり1779年に。まあ、「入学」、つまり、まあ、この学校に入学しました。		
448				うん。	
449		数学.	数学.		
450				ああ、どの学校ですか。	
451		Umm, to, umm, Brienne.	うーん、この、うーん、プリエンヌです。		
452				プリエンヌ、うん、はい。	
453		Oo, se pravi, potem je matematika【日本語で発話する】. o. o. o. tukaj bom še nekaj preveril【「抜群」をjisho.orgに入力して検索する】. O. o. o. 抜群【日本語で発話する】. se pravi, da je bil odličen v matematiki. očitno【笑う】.	うん、つまり、次は「数学」で、ん、ん、ん、ここも少し確認します【「抜群」をjisho.orgに入力して検索する】.「抜群」、つまり数学に優れていたようです【笑う】.		
454				【笑う、】	
455		【笑う、】	【笑う、】		
456				まだ最後まで読んでいませんでしたね。	
457		成績をおさめたという.	成績をおさめたという.		
458				うん。	
459		Se pravi, da se govori, pač da je bil, da je imel zelo dobre ocene in da je bil odličen v matematiki.	つまり、まあ、彼は、彼は非常に成績が良く、数学に優れていたようです。		
460				そうです。	
461	1784年にハリの陸軍士官学校(fr)に入学。	Ooo, 1789年【「1784年」の言い間違い】に【日本語で発話する】.	んんん、「1789年【1784年の言い間違い】」に、		
462				もう一度お願いします【笑う】.	
463		1784年に.	1784年に.		
464				はい。	
465		ハリの陸軍とかん【「士官」の言い間違い】学校【日本語で発話する】. a te bom vseeno prevajal, pač za tisti 陸軍【日本語で発話する】 zdaj pač vem, da je pač ta vojska, nekaj z vojsko povezano.	「ハリの陸軍とかん【「士官」の言い間違い】学校」。あ、これは念のために確認します。まあ、その「陸軍」は今、まあ、この陸軍、陸軍と関係のある何かなのはおわかります。		
466				はい。	
467		Pač ta tucha【「土」を【「土」と言い間違い】【日本語で発話する】. se pravi, da je pač očitno vojski, pač 6 pehota, predvidevam, ta 官【日本語で発話する】 je potem neke vrste, pač, kako bi rekel, kakor naziv ali pač nek položaj.	まあ、この「つち」【「土」を【「土」と言い間違い】は、つまり、まあ、大砲の軍隊、まあ、たぶん歩兵【「土」と誤ったため、歩兵のことが書かれていると勘違いした】のことで、そして、この「官」は何らかの、まあ、何と言えはいいですかね、名称か、まあ、立場のようなものです。		
468				うん。	
469		Včasih, ponevadi, tako pač, birokracija in te zadeve.	時々、普通は、こう、まあ、官僚やそれらのことです。		
470				うん。	
471		学校【日本語で発話する】 je pa pač šola, ne.	「学校」は、まあ、学校ですね。		
472				うん。	
473		Pač skupaj bi rad pogledal no, še v 電子辞書【日本語で発話する】. oziroma ta denshi.org【jisho.orgのこと】.	まあ、これは【「陸軍士官学校」という言葉を】一緒に「電子辞書」か、またはこのdenshi.org【jisho.orgのこと】で調べたいですね。		
474				うん。	
475		Če kaj dobim【「陸軍士官学校」をjisho.orgに入力して検索する】. 陸軍士官学校【日本語で発話する】. no【笑う】. sem dobil pač tudi v 電子辞書【jisho.orgのこと】【日本語で発話する】. očitno besedo, pač vojaška akademija.	何か見つければいいのですが【「陸軍士官学校」をjisho.orgに入力して検索する】.「陸軍士官学校」、まあ【笑う】.「電子辞書」【jisho.orgのこと】でも全部の言葉を見つけました。まあ、陸軍士官学校です。		
476				ああ、「土」ではなくて、「土」だったんですね？	
477		陸軍士官【確認しながらゆっくりに日本語で発話する】. aha, ok, se pravi 陸軍士官学校【確認しながらゆっくりに読む】【日本語で発話する】. se pravi vojaška akademija.	「陸軍士官【確認しながらゆっくりに読む】. ああ、はい、つまり「陸軍士官学校【確認しながらゆっくりに読む】.」つまり陸軍士官学校です。		
478				下の方【「土」の3番目の画】は短いですね。	
479		Mhm.	うん。		
480				「土」はこうで、「土」はこうです【書く】.	
481		Aja, točno, ja, ja, tukaj, ja, aja, točno, ja, sem zamešal, ja.	ああ、そうでしたね、はい、はい、ここ、はい、ああ、そうです。はい、間違えました、はい。		
482				うん。	
483		Točno, ja.	そうでしたね。		
484				ですから【「土」と読みます】.	
485		Ker, ja, drugače 士【日本語で発話する】 je pač tudi 武士【日本語で発話する】 ali pa gospod, lahko je pa tudi bojevnik ali pa vojak, ne.	これは、はい、「士」は、まあ、「武士」でもあるし、あるいは紳士、武士や兵士ですね。		
486				うん。	
487		Pač 兵士【日本語で発話する】. ne.	まあ、「兵士」ですね。		
488				うん、そうですね、兵士。	
489		O. o. o. se pravi, gre za vojaško akademijo, da je leta 1784 šel pač se je vpisal v to pariško vojaško akademijo.	ん、ん、ん、つまり陸軍士官学校のことです、1784年にこのハリの陸軍士官学校に行って、まあ、入学しました。		
490				うん。	

491	士官学校には騎兵科、歩兵科、砲兵科の3つがあったが、彼が専門として選んだのは、伝統もあり花形で人気のあった騎兵科ではなく、砲兵科であった。	Ee, 士官学校には日本語で発話する。tukaj bom preveril to besedo. Mislim, da je konjenik, nisem pa prepričan. Bomo videli zdej, kaj je [騎兵] je jisho.org入力して検索する。	えー「士官学校には」ここでの言葉[騎兵]を確認します。騎兵だと思いますが、確かではないです。今、意味を調べます[騎兵]をjisho.org入力して検索する。		
492				おー	
493		Ja, je 騎、騎兵 [日本語で発話する]。Se pravi, da je bil konjenik, o. o. o. 騎兵 [日本語で発話する]。tukaj je še la. Najbolj se, da dem vse skupaj: 騎兵科 [日本語で発話する]。predvidevam, da je 騎兵科 [日本語で発話する]。no [騎兵科]をjisho.org入力して検索する。Se pravi, ne vem, po mojem je konjeništvu verjetno, amm, se pravi, da predvidevam paš, ker je ta 科 [日本語で発話する]。oziroma, ja, oddelek pač za konjeništvu, ne.	は、「騎、騎兵」です。つまり騎兵でした。みんな、「騎兵」、あ、ここにこれ[科]もあります。全部「騎兵科」といいます。「騎兵科」、おそろ「騎兵科」といいます[騎兵科]をjisho.org入力して検索する。つまり、分かりません。馬術[スロベニア語]では言葉が似ているが、おそろ「騎兵のこと言っている」といいます。たぶん、あ、う、つまり、おそろ、まあ、この「科」ですから、まあ、はい、馬術[騎兵のこと]の科だと思います。		
494				うん、はい。	
495		O, o, o, oziroma oddelek za konjenico, recimo, ne. O, o, o, se pravi, to je oddelek za konjenico, potem naprej je pač pehota, pač sicer moram preverit & izgovorjavo, ampak pač vem, da je pehota, zato ker je hodil in vojak, pač se pravi iz kanjijev [歩兵]をjisho.org入力して検索する。	ん、ん、ん、あるいは騎兵科と言いますか。みんな、つまりこれは騎兵科で、そして次に、まあ、歩兵です。まあ、読み方はまだ確認しなければいけません。まあ、歩兵の漢字からできていますから、歩兵なのかわかります[歩兵]をjisho.org入力して検索する。		
496				うん。	
497		歩兵 [日本語で発話する]。se pravi, ja, pehotni oddelek, se pravi konjeniški oddelek, o, se pravi, v taj vojaški akademiji je bil pač konjeniški oddelek, pehotni oddelek, tukaj je pač ta od 鉄砲 [日本語で発話する]。pač ta kanji [砲]。	「歩兵」、つまり、はい、歩兵科、つまり騎兵科です。あ、つまり、はい、歩兵科、つまり騎兵科と歩兵科。[そして]ここに、まあ、この「鉄砲」の、この漢字[砲]があります。		
498				うん。	
499		Zato vem, da je pač ta topniški oddelek, ampak oseeno bom preveril še izgovorjavo v jisho.org [「砲兵」をjisho.org入力して検索する]。Oo, se pravi 砲兵 [日本語で発話する]。se pravi, ja, pač artiljerja ali topništvo.	ですから、砲兵科とはわかりますが、一応読み方をjisho.orgで確認します[「砲兵」をjisho.org入力して検索する]。ん、ん、つまり「砲兵」、つまり、はい、まあ、歩兵が歩兵隊です。		
500				うん。	
501		Ee, se pravi, da vidim, pač ta vojaška akademija je imela pač ta tri oddelke, se pravi oddelek za konjenico, oddelek za pehoto in oddelek za, umm, topništvo.	えー、つまり、さあ、まあ、この陸軍士官学校は、つまり騎兵科、歩兵科そして、うーん、砲兵科の3つの科がありました。		
502				うん。	
503		Pač, oziroma artiljerjo.	まあ、つまり、砲兵科[スロベニア語]で類義語を言います。		
504				うん。	
505		In, 彼が専門として選んだのは [日本語で発話する]。pač on si je, kateratega si je pač izbral potem, enega od teh treh, 伝統もあり [日本語で発話する]。aa, tukaj samo nekaj še preverim.	そして、「彼が専門として選んだのは」、まあ、彼[「アトリエン」]は、まあ、その3つの中からどれか1つを選びました。「花形」もあり、ああ、ここで少し[この2つの漢字を]確認します。		
506				うん。	
507		Še ta dva kanjija [「花形」をjisho.org入力して検索する]。花形 [日本語で発話する]。im, im, im, sta [英語で発話する]。aha, se pravi neke vrste zvezniški, 花形で人気のあった [日本語で発話する]。ta, kaj je, 騎兵 [日本語で発話する]。	この2つの漢字を調べます[「花形」をjisho.org入力して検索する]。「花形」、ふん、ふん、ふん [star] [英語で発話する]。ああ、つまり一種の有名な、「花形で人気のあった」、この、何でしたっけ、[騎兵]。		
508				うん。	
509		騎兵科ではなく [日本語で発話する]。se pravi, da se ni vpisal v pač, v ta popularen in, kako bi rekel, pač ta oddelek, konjeniški oddelek, ki je bil tak popularen in zdi se, da je imel pač tudi dolgo tradicijo.	「騎兵科ではなく」、つまり、この人でも、何と言えはいいですか。まあ、この科、人気があるって長い伝統もあったらしい騎兵科に、まあ、入らず。		
510				うん。	
511		Ampak se je vpisal v ta 砲兵科 [日本語で発話する]。	この「砲兵科」に入学しました。		
512				うん。	
513	大砲を使った戦術は、彼の彼の命運を大きく左右することになる。	Pač, ki je bil ta topniški oddelek. In, たい [大砲の「大」のこと]。malim, da je tukaj, to še preverim, mislim da je 大砲 [日本語で発話する]。Se se ne motim, samo pač verjetno [「大砲」をjisho.org入力して検索する]。aha, 大砲 [日本語で発話する]。ja, se pravi topništvo. Edino to bom še preveril, ta artillery [英語で発話する]。Se je res topništvo.	まあ、この砲兵科です。そして、「たい」[大砲の「大」のこと]、ここはたぶん、これを確認します。間違っていないけれど「大砲」ですが、たぶん「大砲」をjisho.org入力して検索する。ああ、「大砲」、はい、つまり大砲です。ただ、この「artillery」[英語で発話する]が、本当に「スロベニア語の意味の」大砲なのか、これも確認します。		
514				うん、PONS [オンライン多言語辞書]ですか。	
515		Ja, na PONS, ja.	はい、PONSで、はい。		
516				うん。	
517		Artillery [英語で発話する]。artilleryをPONSに入力して検索する。artillery [英語で発話する]。topništvo, ja, artillery [英語で発話する]。ja. Se pravi obobe se zdi pravilno, o. o. o. を使った戦術は [日本語で発話する]。se ta 戦術 [日本語で発話する]。preverim. Pač vem, kaj pomeni, ampak ne vem, kako bi točno prevedel.	「大砲」[英語で発話する]。英語[artillery]をPONSに入力して検索する。「artillery」[英語で発話する]。大砲、はい、artillery [英語で発話する]。はい、つまり、[スロベニア語]の類義語の「砲」とは正しいですね。ん、ん、ん、[を使った]戦術は、この「戦術」も確認します。意味は知っていますが、正確にどう訳せばいいかわかりません。		
518				うん。	
519		Umm, neke vrste vojska pač znanje [「戦術」をjisho.org入力して検索する]。a strategija oziroma taktika. Mmm, umm, se pravi, da taktika uporabe tega topništva.	うーん、何らかの陸軍の、まあ、知識[かもしれない] [「戦術」をjisho.org入力して検索する]。あ、戦略あるいは戦術です。みんな、うーん、つまり、この大砲の使い方の戦術です。		
520				うん。	
521		は [日本語で発話する]。je 彼の彼の [日本語で発話する]。umm, 命運 [日本語で発話する]?	「は」、は、「彼の彼の」、うーん、「命運」?		
522				うん。	
523		Samo preverim še ta 命運 [日本語で発話する] [「命運」をjisho.org入力して検索する]。A, se pravi uooh.	あと、この「命運」を確認します[「命運」をjisho.org入力して検索する]。あ、つまり命運です。		
524				うん。	
525		大きく [日本語で発話する]。umm, mmm, še to preverim [「左右」をjisho.org入力して検索する]。Mmm, 左右 [日本語で発話する]。pač, da je pač imelo močben vpliv pač tudi, influence control [英語で発話する]。pač, denshio.org.	「大きく」、うーん、みんな、これ[左右]も確認します[「左右」をjisho.org入力して検索する]。うん、左右、まあ、大きな影響を、まあ、与えた。まあ、ここ[jisho.org] [「影響」]があります。「influence control」[英語で発話する]。まあ、denshio.org [jisho.org]に書いてあります。		
526				うん。	

527			左右することになる。を使った。は[日本語で発話する]。se pravi da pač, da ta taktika, oziroma, ja taktika, pač, uporablja, oziroma, je imela potem velika vpliv na njegovo usodo.	「左右することになる。を使った。は、つまり、まあ、この戦術、あるいは、はい、まあ、大砲を使った戦術は、その後、彼の運命に大きな影響を与えました。」		
528					うん。	
529			Pač, življenjsko usodo.	まあ、運命に[影響を与えました]。		
530					うん。	
531			Umm, 卒業試験の成績は58人中42位であったもの、通常の在籍期間が4年後であるところを、わずか11か月で必要な課程を修了したことを考えれば、むしろ非常に優秀な成績と言える。	うーん、「卒業試験の成績は58人中42位であったもの[笑う]。であったもの[笑う]。であったもの[日本語で発話する]。」		
532					[笑う。]	
533			Se pravi, da kljub temu, da je bil na zaključnem izpitu, da je bil pač po oceni od, med, od 28 teh kandidatov na 42. mestu.	つまり、卒業試験で、まあ成績が、候補者28[58を間違えて28と言う]人中の42位だったにもかかわらず。		
534					うん。	
535			Umm, 通常の[日本語で発話する。], se pravi navadno.	うーん、「通常の」、つまり普通[ということです]。		
536					うん。	
537			Pač, o. o. o. Se to preverim, jisho.org. 在籍[日本語で発話する][「在籍」をjisho.orgに入力して検索する]。在籍期間[日本語で発話する]。se pravi, 在籍[日本語で発話する]。je vop. 期間[日本語で発話する]。je pač čas, oziroma ta časovni interval. 在籍期間が4年後であるところを[日本語で発話する]。o. o. o. 通常の, 4年, 前後[日本語で発話する]。と, 2か[日本語で発話する]。samo tukaj še nekaj preverim [「前後」をjisho.orgに入力して検索する]。Mmm, 前後[日本語で発話する]。približno, se pravi, 前後であるところを[日本語で発話する]。	まあ、んんん、あと、これを確認します。jisho.orgで「在籍」をjisho.orgに入力して検索する。」「在籍期間」、つまり「在籍」は在籍で、「期間」は、まあ、期間またはこの期間です。「在籍期間が4年後であるところを」、ん、ん、ん、「通常の、4年、前後、ところ、ここだけ確認します」「前後」をjisho.orgに入力して検索する。」「ん、ん、ん、「前後」、大体、つまり前後であることを。」		
538					うん。	
539			わずかに11か月で必要な課程を修了したことを考えれば、むしろ非常に優秀な成績と言える[日本語で発話する]。A, se pravi, da pač kljub temu, da je bil 42. mesto [日本語で発話する]。	「わずかに11か月で必要な課程を修了したことを考えれば、むしろ非常に優秀な成績と言える」。あ、つまり、「42位」だったのに。」		
540					うん。	
541			Je pač on opravi pač to, ta trening, ki običajno pač vzame, koliko, približno štiri leta, je on opravi v samo 11 mesecih.	まあ、彼[ナポレオン]は、この、普通、どれくらい、大体4年が、まあ、かかるこの訓練[課程のこと]を、まあ、わずかに11か月で終了しました。		
542					うん。	
543			V pač teh 11 mesecih, je, 過程を[日本語で発話する]。pač v teh 11 mesecih je opravi vse potrebne ta, pač, predmete.	まあ、この11か月で、「過程を」。まあ、この11か月で必要な、この、科目を全て終了しました。		
544					うん。	
545			In če pač vzamemo to v ozi, pač, je to v bistvu zelo, pač, izjemno dobra ocena pač glede na to, da je končal pač ta trening, oziroma to izobrazbo končal, namesto v štirih letih, je je končal v 11 mesecih.	そして、まあ、これ[11か月で終了した]ことを考えれば、まあ、これは要するに、とても、非常にいい成績です。まあ、この訓練を終了、この過程を4年間ではなくて、11か月で終了したということを考えれば[いい成績です]。		
546					うん。	
547			実際、この11か月での卒業は開校以来[日本語で発話する]。a, to samo še preverim [「開校」をjisho.orgに入力して検索する]。O. o. o. se pravi, odkar se je ta šola odprla, od takrat naprej, kar je bila pač ta vojaška akademija odprta, 2か[日本語で発話する]。to še preverim samo zaradi izgovorjave. Pač vem, da je bil pač rekord, pač najkrajše časovno obdobje, na pač.	「実際、この11か月での卒業は開校以来、あ、これだけ確認します」「開校」をjisho.orgに入力して検索する。」「んんん、つまり、この学校が開校してから、それ以来、まあ、この陸軍士官学校が開校してから、[2か]。」「最短記録」「読み方」に迷う。これ[「最短記録」の読み方]だけ確認します。記録が11か月というわけですが、まあ、最短期間ですね。」		
548					うん。	
549			Umm, 最短記録 [「最短記録」をjisho.orgに入力して検索する]。O. o. o. se pravi najkrajše, se pravi, da pač, da, v tej zgodovini te vojaške akademije je bil pač to, da pač, to, da je zaključil, to, pač ta študij ali pač, kako bi rekel, ja, pač ta študij v 11 mesecih, da je pač v zgodovini te vojaške akademije pač rekord za najkrajše, pač najhitreje končano izobraževanje.	うーん、「最短記録」「最短記録」をjisho.orgに入力して検索する。」「んんん、つまり、まあ、この陸軍士官学校のこの歴史、まあ、これが、まあ、終了したことが、この、まあ、この過程を、何と言えはいいですか、はい、まあ、この過程を11か月で、まあ、この陸軍士官学校の、まあ、歴史上の記録を終了最短記録です。」		
550					うん。	
551			この時期のエピソードとして、クラスで雪合戦をした際にナポレオンの見事な指揮と陣地構築で快勝したという話が有名で、このことから指揮官としての才能があったとされるが、英語ではなく偉人伝を影の作り話である。	この時期の[日本語で発話する]。a, se pravi, preverim [「雪合戦」をjisho.orgに入力して検索する]。Umm, 「ナポレオンの見事な指揮」の「し」のこと[日本語で発話する]。a, tukaj samo še to, ta dva kargja.	「この時期の」あ、つまり、	
552					続けてもいいですか。	
553			Umm, ja, lahko.	うーん、はい、大丈夫です。		
554					では、ここ[「生い立ち」の最後の段落]まで行きましょう。	
555			Ja, lahko še naprej, ja.	はい、続けてもいいです、はい。		
556					はい、うん。	
557			Oo, se pravi, 2この時期のエピソード [「エピソード」の面白い話として日本語で発話する]。se pravi, pač, kakor en tak zanimiv dogodek iz tega obdobja, verjetno ko je bil na tej vojaški akademiji.	んん、つまり、「この時期のエピソード」「エピソード」の面白い話として。つまり、まあ、たぶんこの陸軍士官学校にいた時、1つのおもしろい出来事として。		
558					うん。	
559			クラスで[日本語で発話する]。o. o. o. to bom preverim [「雪合戦」をjisho.orgに入力して検索する]。Mmm, o. o. o. pa pogejmo, a, 雪合戦 [日本語で発話する][笑う]。	「クラスで」。ん、ん、ん、これ[「雪合戦」を確認します]。」「雪合戦」をjisho.orgに入力して検索する。」「ん、ん、ん、ん、ん、ん、見てみましょう。あ、「雪合戦」[笑う]。」		
560					[笑う。]	
561			Se pravi, da, da so se kopal, pač ob približno 10 so se kopal med sabo, umm, 「ナポレオンの見事な指揮」の「し」のこと[日本語で発話する]。a, tukaj samo še to, ta dva kargja.	つまり「学生たちが」「雪合戦を、まあ、この雪合戦という後に、うーん、「ナポレオンの見事な指揮」の「し」のこと」。あ、ここはこれだけ、この2つの漢字を[確認します]。」		
562					うん。	
563			[「指揮」をjisho.orgに入力して検索する。]。o. o. o. 指揮 [日本語で発話する]。se pravi, da pač pod njegovim brijarntnim vodstvom, umm, aaa, [「陣地構築」をjisho.orgに入力して検索する]。陣地 [日本語で発話する]。se pravi pač nekje vstop položaj, pač vojaški, 構築 [日本語で発話する]。se pravi pač zgradba nekakega [笑う] tega vojaškega položaja.	「指揮」をjisho.orgに入力して検索する。」「ん、ん、ん、「指揮」、つまり、まあ、彼[ナポレオン]の素晴らしい指揮のもとで、うーん、あー[「陣地構築」をjisho.orgに入力して検索する]。「陣地」、つまり、まあ、何らかの位置、まあ、陣地です。「構築」、つまり、まあ、何らかの[笑う]。この陣地の構築です。」		

597		O. o. o. Plutarhの英雄伝【日本語で発話する】. pa 2. he, pač verjetno te herojske zgodbe, saj lahko e preverim, pač.	ん、ん、ん、プタルコス「の英雄伝」、まあ、英、まあ、たぶんこの英雄の話です。まあ、まだ確認できます。		
598				うん。	
599		Mmm[おそろくWikipediaで「英雄伝」を検索するかプタルコスのページで「英雄伝」を探す]、英雄伝【日本語で発話する】. ja, pač zgodbe o teh herojih.	うん[おそろくWikipediaで「英雄伝」を検索するかプタルコスのページで「英雄伝」を探す]。「英雄伝」、はい、まあ、この英雄たちの話です。		
600				うん。	
601		ヤルソーの【日本語で発話する】. mmm, se to preverim. 【著作】をjisho.orgに入力して検索する。著作【日本語で発話する】. se pravi, mislim da so to ruske knjige. A. ne. Rousseau【笑う】。Se pravi da gre za avtorja. No, zaradi tega je treba preveriti.	「ヤルソーの」。うん、これ【著作】も確認します【著作】をjisho.orgに入力して検索する。「著作」、つまり、これはロシアの本だと思います。あ、いいえ、ルソーです【笑う】。つまり著者です。まあ、ですから、確認しなければなりません。		
602				うん【笑う】。	
603		Umm.	うーん。		
604				その通りです。	
605		Se pravi, da jebral pač te herojske zgodbe od Prolotalkosa. 【プタルコスの言い間違え】[発音して繰り返しながら読む]【日本語で発話する】. Plutarha, pač herojske zgodbe od Plutarha in knjige od Rousseauja. Oo, tukaj, kaj je še to. Preverim. Oo, spet jisho.org. 【精読】をjisho.orgに入力して検索する。精読【日本語で発話する】. se pravi, da je pač intenzivno ali pač, tako, zelo rad bral.	つまり、まあ、この「プロ、プタルコス」【「プタルコス」の言い間違え】[発音して繰り返しながら読む]、プタルコスの英雄伝を読んで、まあ、プタルコスの英雄伝とルソーの著作を読んでいた。ん、ん、ここは、これ【精読】は発音ですか、確認します。ん、ん、またjisho.orgです【精読】をjisho.orgに入力して検索する。「精読」、つまり、まあ、熱心に、あるいは、こう、愛読していました。		
606				うん。	
607		無口で友達が少ない。	無口で友達が少ない。		
608				うん。	
609		Se pravi, da je bil pač, tak, tih in sramežljiv in da je imel malo prijateljev. Bomo še to preverili v jisho.org. 【小柄】をjisho.orgに入力して検索する。小柄【日本語で発話する】. se pravi, pač, je bil majhen. To vsi vemo, ne. 【笑う】。	つまり、まあ、こう、静かで内気で友達が少ないかったです。あと、これ【小柄】をjisho.orgで確認します【小柄】をjisho.orgに入力して検索する。「小柄」、つまり、まあ、小柄でした。これはみんな知っていますね【笑う】。		
610				うん。	
611		小柄な【日本語で発話する】. ee, 少年であった【日本語で発話する】. Se pravi, da je bil pač, tak, sramežljiv, pač, fant majhne postave, ki ni imel dosti prijateljev.	「小柄な」、えー「少年であった」、つまり、まあ、こう、内気で、まあ、小柄で友達が少ない少年でした。		
612				うん。	
613		Rad je bral pač te, se posebej rad je bral te knjige, od, pač herojske zgodbe, te od Plutarha, in Rousseaujeve knjige. In pač da je, pač da je varčeval denar pač za te knjige.	読書が好きで、まあ、この、特にこれらの本を読むのが好きで、まあ、このプタルコスの英雄伝やルソーの著作が好きです。そして、まあ、これらの本、まあ、のために節約をしていました。		
614				うん。	
615		Ooo, in to je pač od njegovga otroštva, v bistvu.	んんん、そしてこれは、まあ、妻するに彼【ナポレオン】の幼年時についてです。		
616				うん。	
617	学校ではコルシカ語を馬鹿にされ、ナポレオンに近い音でラバイヨネ (la paille au nez, 糞鼻) とあだ名された。	学校ではコルシカ【日本語で発話する】. oo, tukaj e preverim. コルシカ【読り】をjisho.orgに入力して検索する。読り【日本語で発話する】. a, se pravi korzi, korziški dialekt.	「学校ではコルシカ」。うん、これも確認します。「コルシカ」【「読り」をjisho.orgに入力して検索する】。「読り」、あ、つまりコルシカ、コルシカの方言です。		
618				うん。	
619		を馬鹿にされ【笑う】。	を馬鹿にされ【笑う】。		
620				うん。	
621		Pač, se pravi ko je bil v Šoli, so pač so se mu posmejevali zaradi njegovega, pač, tega korziškega dialekt.	まあ、つまり、学校にいたとき、まあ、彼【ナポレオン】はコルシカ語があったため、「学生たちは」彼を馬鹿にしていました。		
622				うん。	
623		ナポレオンに近い【日本語で発話する】. umm, オン【「音」のこと】[少し速う]、ナポレオンに近い音でラバイヨネ【日本語で発話する】. 【笑う】. to tukaj je očitno neka besedna igra.	「ナポレオンに近い」。うーん、「オン」【「音」のこと】[少し速う]、ナポレオンに近い音でラバイヨネ【笑う】。ここは、何らかの言葉遊びみたいですね。		
624				【笑う】。うん。	
625		Umm, ラバイヨネ, ラバイヨネ【繰り返す】【日本語で発話する】. To moram preveriti, ker mi ni prav jasno.	うーん「ラバイヨネ、ラバイヨネ」[繰り返す]、これはよく分からないので、確認しなければなりません。		
626				ああ、この漢字【糞鼻】まで来ましたね。	
627		Kanjija, ja. 【「糞鼻」をjisho.orgに入力して検索する】.	漢字、はい【「糞鼻」をjisho.orgに入力して検索する】.		
628				最後にカッコにある【漢字】.	
629		Aa, očitno ne bo. Drugače lahko tudi preverim, umm, če je to v francoščini, mogoče bo kaj prišlo ven.	ああ、「糞鼻」は出てこないみたいです。だったら、うん、フランス語でも確認できます。何か出てくるかもしれません。		
630				うん。	
631		Bom kar vstavil tukaj. 【「la paille au nez」をWikipediaで検索する】.	ここに入力します【「la paille au nez」をWikipediaで検索する】.		
632				うん、Wiki【Wikipedia】で。	
633		V Wiki【Wikipediaのこと】. ja.	Wiki【Wikipediaのこと】で、はい。		
634				ないですか。	
635		Aha, to je pa zdaj majhna jezikovna ovira. Bomo videli, če bomo tukaj kaj dobili, če dem francoščino. 【PONSをスロベニア語・フランス語に設定して「la paille au nez」を入力して検索する】.	ああ、今のこれ【外国語の言葉を検索すること】は、小さな言語の壁ですね。フランス語にしたら何か出てくるかどうか、見てみましょう【PONS【オンライン多言語辞書】をスロベニア語・フランス語に設定して「la paille au nez」を入力して検索する】.		
636				ああ、今はPONSですね。	
637		PONS, ja.	PONS, はい。		
638				そしてフランス語から、	
639		Pač, bom poskusil.	まあ、やってみます。		
640				スロベニア語に。	

641			Umm, se pravi nez[フランス語で発話する] je nos.	うーん、つまり[nez[フランス語で発話する]は鼻です。]		
642					鼻。	
643			Paille[笑って咳く][フランス語で発話する]。	[Paille][笑って咳く][フランス語で発話する]。		
644					paille。	
645			Vieči stamco iz nosu. Nekoliko nenavadno. Pač, zdi se, da gre za nako, pač, besedno igro.	[羨鼻は、]鼻を鼻から引っこ振る[どう意味です]、少し変です。まあ、何らかの、まあ、言葉遊びみたいです。		
646					うん。	
647			とあだ名、あだ名[日本語で発話する]、se ta あだ名[日本語で発話する] preverim [「あだ名」をjisho.orgに入力して検索する]。	[「とあだ名、あだ名」、この[あだ名]も確認します[「あだ名」をjisho.orgに入力して検索する]。]		
648					うん。	
649			Mmm, pač, ta nickname, se pravi to se preverim, nickname[英語訳を発話する], ker se ne prav spominim točno, kako bi prav prevedel to. Angleščina[「あだ名」の英語訳[nickname]をPONSに入力して検索する]、nickname[英語訳を発話する]、umm, dobro, to se mi zdi malo, pač, zdi se, da ni nekaga pametnega prevoda za to, ampak pač, tako so ga pač klicali.	うん、この[nickname][英語訳を発話する]、つまり、正確にどう訳せばいいか思い出せないで、[nickname][英語訳を発話する]を確認します。英語で[「あだ名」の英語訳[nickname]をPONSに入力して検索する]、あだ名、うん、まあ、これは少し、まあ、いい翻訳がないようですが、まあ、このように呼ばれていたわけですが。		
650					うん。	
651		裕福な貴族子弟と折りがいがあったためである。	V šali. Oo, potem naprej ja, o, o, o, o, šet to preverim [「裕福」をjisho.orgに入力して検索する]、裕福[日本語で発話する]、se pravi nako, pač, bogastvo, 裕福な貴族[日本語で発話する]、se to [「子弟」のこと]確認します]。Pač[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する]、子弟[日本語で発話する]。	[「あだ名の意味は」冗談として、ん、ん、その続きは、ん、ん、これ[裕福]も確認します[「裕福」をjisho.orgに入力して検索する]、[「裕福」つまり何らかの、まあ、裕福です。[「裕福な貴族」、これ[「子弟」のこと]確認します]、まあ[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する]、[「子弟」]です。		
652					うん。	
653			Se pravi, da ti mladi, pač, bogati mladi plemiči, to, umm, mmm[「折りがい」をjisho.orgに入力して検索する]、フリア[日本語で発話する][「折りがい」の言い間違い]、a, お、折りがい[日本語で発話する]。	つまり、この若い、まあ、裕福な貴族子弟は、この、うん、ん[「折りがい」をjisho.orgに入力して検索する]、フリア[「折りがい」の言い間違い]、あ、「お、折りがい」です。		
654					うん。	
655			Se pravi, da njegovi odnosi s temi mladimi bogatimi plemiči, 悪かったため[日本語で発話する]、se pravi, ker so bili ti njegovi, pač, odnosi s temi drugimi, pač, mladimi plemiči, pač temi mladimi premožnimi plemiči, pač slabi.	つまり、彼のこの裕福な貴族子弟との関係が「悪かったため」、つまり、この彼のこの他の、まあ、貴族子弟、まあ、この裕福な貴族子弟との関係が悪かったためです。		
656					うん。	
657		その頃の数少ない友人の一人が、後に秘書官を務めるルイ・アントワーン・フォレド・ブーリエンスであった。	この、その頃の、すう[「数」のこと]、すう[「数」のこと]、しょう[「小」のこと][日本語で発話する]、umm, samo se to preverim, すう[「数」のこと]、少ない[日本語で発話する][「数少ない」をjisho.orgに入力して検索する]、数少ない[日本語で発話する]。	[この、その頃の、すう[「数」のこと]、すう[「数」のこと]、しょう[「小」のこと]、うん、これだけ確認します。[「すう[「数」のこと]、少ない][「数少ない」をjisho.orgに入力して検索する]、[「数少ない」]です。		
658					うん。	
659			Se pravi redki.	つまり、数少ないです。		
660					数少ないというフレーズですね。	
661			Ja, se pravi redko prijatelj, no, se pravi iz tistga obdobja, se pravi, pač, je eden od njegovih redkih prijateljev, 友人の一人が後に[日本語で発話する]、mmm, šet to preverim[「秘書官」をjisho.orgに入力して検索する]、A tako, oo, 秘書官[日本語で発話する]、se pravi je postal njegov, pač, sekretar.	はい、つまり、数少ない友達、まあ、つまり、その頃の、つまり、まあ、彼の数少ない友達の一人が、友人の一人が後に、ん、ん、あ、これ[秘書官]を確認します[「秘書官」をjisho.orgに入力して検索する]、あ、あ、た、ん、ん、[「秘書官」、つまり彼[「ブーリエンス」]の、まあ、秘書官になりました。		
662					うん。	
663			を頼めるロイアントワン、アントワン、ロイアントワン[フランス風の名前を発音するのに苦労する]、[日本語で発話する]。	を頼めるロイアントワン、アントワン、ロイアントワン[フランス風の名前を発音するのに苦労する]。		
664					[笑う。]	
665			フォ、フォレ、フォレド[笑う]、ホ、ホリエン、ホリエン、まあ[日本語で発話する]。	[フォ、フォレ、フォレド[笑う]、ホ、ホリエン、ホリエン、まあ]。		
666					はい、お疲れ様[笑う]。	
667			[笑う]、ロイ、ロイアントワン、フォレド・ブーリエンス[日本語で発話する]、Mm, no, saj tudi sam pač ne znam izgovarjati teh francoskih imen, tako da, [笑う。]	[笑う。]ロイ、ロイアントワン、フォレド・ブーリエンス[日本語で発話する]、まあ、私もこのフランス人の名前が言えないので、[笑う。]		
668					[笑う。]	
669			Tukaj ni toliko, tukaj ni toliko vprašanje katakana ali ne katakana.	ここは、ここは、カタカナかカタカナではないか、という問題ではなくて、		
670					[笑う。]	
671			Ampak je čisto preprosto težko ime. Se pravi, to je bilo ime tega njegovga prijatelja.	単に名前[の発音]が難しいです。つまり、これは、この彼の友達の名前です。		
672					うん。	
673			Ki je potem postal očitno njegov pač, ee, ki je bil pomočnik ministra, se mi zdi, oziroma ministrov, pač ta, sekretar.	そして、[友達]その後彼の、まあ、えー、大臣の助手だったと思いますが、いいえ、大臣の、まあ、この、秘書官になりました。		
674					秘書官です。	
675		一方で、癖持ちでもあり、喋りっ早く短気な一面もあった。	一方で[日本語で発話する]、po drugi strani, umm, umm[「癖持ち」をjisho.orgに入力して検索する]、po drugi strani, preverimo se to tukaj.	[「一方で」、一方で、うん、うん[「癖持ち」をjisho.orgに入力して検索する]。一方で、これ[「癖持ち」]も確認します]。		
676					うん、この4つの漢字[「癖持ち」]です。	
677			癖持ち[日本語で発話する]、se pravi, bi bil vroč ekvren, であり[日本語で発話する]、ja, se pravi, ja bi tudi vroč ekvren, mmm, tukaj se to preverim [「喋り」をjisho.orgに入力して検索する]、Mmm, da vidimo, 喋り[日本語で発話する]。	[「癖持ち」、つまり、癖持ちでした。「でもあり」、はい、つまり、癖持ちでもあって、ん、ん、ここでも[「喋り」も確認します][「喋り」をjisho.orgに入力して検索する]、ん、ん、どうでしょう、「喋り」。		
678					うん。	
679			喋り、つ、早く[日本語で発話する]、pač očitno se je hitro sprl.	[「喋り、つ、早く」、まあ、喋りっ早かったみたいですよ。		
680					うん。	
681			短気、短気な[日本語で発話する]。	[「短気、短気な」。		

682					「喧嘩っ早く」を検索して見つかりませんでしたので、次に「「喧嘩」と「早い」だけ」検索しましたね。	
683			Aa, nisem dobil. 喧嘩っ早く(おそらく読み方が分らなかった。日本語で発話する。)]		ああ、見つかりませんでした。「喧嘩っ早く」おそらく読み方が分らなかった。]	
684					「喧嘩」と「早い」だけ」検索しましたね。	
685			喧嘩っ早く(日本語で発話する。)] ok. 短気(日本語で発話する。)] se pravi spet, da je, da je, pač da je bil, aha, to bi lahko preveril še, o, o, o, ša v PONS, short-tempered (英語で発話する)] [PONSに入力して検索する。] Aja, točno, zdaj je še vedno francoščina, ja, angleščina, slovenščina(スロベニア語、フランス語の発定をスロベニア語・英語に変える。)] Vzkopjiv, se pravi, da je bil nagel jeze, vzkopjiv.		「喧嘩っ早く」分かりました。「短気」つまり、まあ、彼が、ああ、これも確認した方が、みんな、PONSでも「確認します」。「short-tempered」[英語で発話する)] [PONSに入力して検索する。]。ああ、そうでした。今はまだフランス語に設定されていますでしたね。英語、スロベニア語[PONSでスロベニア語、フランス語の発定をスロベニア語・英語に変える。]。喧嘩っ早い、つまり喧嘩っ早い、継続持っていました。	
686					うん。	
687			一面もあった(日本語で発話する。)] se pravi, da [「一面」をjisho.orgに入力して検索する。] se pravi, da en vidik njega je bil pač tudi ta, ena plast njega je bilo tudi to, pač da, da je bil vročekrvn, da se je hitro pač skregal in je bil tak vzkopjiv.		「一面もあった」、つまり「一面」をjisho.orgに入力して検索する。つまり彼の一面は、まあ、彼の一面はこの、彼が継続持ちでもあったということですが、彼がこう、喧嘩っ早くて継続持っていました。	
688					うん。	
689			Pač to je tudi ena, pač del njegov, pač njegove osebnosti.		まあ、これも1つの、まあ、彼の、まあ人格の一面です。	
690					うん。誰のですか。	
691			Umm, Napoleona.		うーん、ナポレオンのです。	
692					ナポレオンの、うん。	
693		また十代の後半は小説家にも憧れ、その頃から断続的に文学活動もしていた。	また十代(日本語で発話する。)] no, se pravi, ko je imel približno, od deset let naprej nekeko, tam okoli desetih let, umm, の後半は(日本語で発話する。)] a, se pravi, 後半(日本語で発話する。)] se pravi, tam, ko je imel recimo, ne vem, verjetno pa č 15 let, ker je pač 後半(日本語で発話する。)]		「また十代」、まあ、つまり、大体、10歳になってから、10代の頃です。うーん、「の後半は」、あ、つまり「後半」、つまり、まあ、分かりません。たぶん、まあ、15歳の頃、「後半」ですから。	
694					うん、うん。	
695			は小説家(日本語で発話する。)] očitno je to pisec romanov [「小説家」をjisho.orgに入力して検索する。] Se pravi, ja, je hotel postati [小説家。]にも憧れ(日本語で発話する。)] samo praveril bom še, ker nisem prav prepričan [「憧れ」か「憧れる」をjisho.orgに入力して検索する。]		「は小説家」、小説家みたいですよ[「小説家」をjisho.orgに入力して検索する。]、つまり、はい、[小説家]になりましたかたのです。「にも憧れ」、[意味が]よくわからないので、少し確認します[「憧れ」か「憧れる」をjisho.orgに入力して検索する。]	
696					うん。	
697			Mmm, se pravi, da se je, pač, ko je imel približno 15 let, je razmišljal[小説家になろうかと]、pač, oziroma je želel postati pisatelj.		うん、つまり、まあ、15歳だった頃は、「小説家になろう」と考えていました。まあ、いいえ、小説家になりましたかたのです。	
698					うん。	
699			そのころから(日本語で発話する。)] mmm, še to preverim. Oo, apat jisho.org [「断続的」をjisho.orgに入力して検索する。]		「そのころから」、うん、あとこれ「断続的」を確認します。うん、またjisho.orgです[「断続的」をjisho.orgに入力して検索する。]	
700					うん。	
701			断続的(日本語で発話する。)] umm, se pravi z nekimi prekinitvami. に文学活動もしていた(日本語で発話する。)] Se pravi, v tistem obdobju s prekinitvami se je pač ukvarjal tudi z literaturo.		「断続的」、うーん、つまり何らかの断続があつて、「に文学活動もしていた」、つまり、その時期は断続的に、まあ、文学とも関わっていました。	
702					うん。	
703			Oziroma z literarnimi, pač, s temi dejavnostmi.		まあ、文学の、活動[をしていました]。	
704					うん。	
705			Verjetno pač s tem, s pisateljstvom, verjetno, v tem primeru.		たぶん、まあ、この、小説家[という活動でしょう]。たぶん、この場合は。	
706					うん。	
707			No, pač, to je pa to. Mislim, da vsaj, da s tem zaključiva.		では、まあ、こういうことですね。これで、これで終わったと思います。	